

令和7年度第1回倫理審査委員会報告

○ 目 的

衛生研究所の職員が実施する調査、研究、実験及び実習等が研究対象者の人権配慮、研究内容の説明と同意等、倫理的配慮の下で適切に行われることを目的として、倫理審査委員会による審査を実施しました。

○ 開催日 令和7年7月14日（月）

○ 倫理審査委員

委員長	浅岡 隆裕	立正大学文学部 教授
副委員長	吉田 和浩	衛生研究所 副所長（人事異動に伴い選出：前任者の残任期）
委員	守屋 利佳	北里大学医学部 教授
委員	香川 比洋	茅ヶ崎市民
委員	大久保 一郎	茅ヶ崎市保健所 所長
委員	関戸 晴子	衛生研究所 企画情報部長
委員	大屋 日登美	衛生研究所 微生物部長
委員	脇 ますみ	衛生研究所 理化学部長
委員	宮原 香代子	衛生研究所 地域調査部長

○ 審査対象研究課題

令和7年度から研究実施申請のありました人を対象とする医学系研究課題で、迅速審査の対象である2課題について審査を実施しました。また、報告事項として、令和7年度から研究実施申請のありました人を対象とする医学系研究課題で迅速審査を実施した1課題についての迅速審査結果報告、令和4年度に承認を受けた1課題及び令和6年度に承認を受けた4課題について申請のあった研究計画の軽微な変更の内容報告、令和4年度に承認を受けた1課題の研究の結果・成果の公表報告、令和2年度に承認を受けた1課題及び令和6年度に承認を受けた1課題の研究終了報告を実施しました。

○ 審査項目

- 1 研究の目的及び意義
- 2 研究によって生ずる危険性と学術上の成果の総合的判断などの科学的合理性
- 3 研究対象となる個人又は検査材の提供者の人権擁護などの倫理的合理性
- 4 試料・情報の入手方法

○ 審査結果

- 1 公衆浴場等におけるレジオネラ発生防止及び衛生管理推進のための研究
（令和7年度倫理審査 承認）
https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/004_chousa/hitotaisho/hitotaisho_r07.html#no5
- 2 神奈川県のパライミコプラズマの全ゲノムによる薬剤耐性状況の解明 ―コロナ禍の影響―
（令和7年度倫理審査 承認）
https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/004_chousa/hitotaisho/hitotaisho_r07.html#no6

○ 迅速審査を行った研究課題

- 1 神奈川県で分離されたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎由来株におけるUK系統株の流行解析
（倫理審査 令和7年6月24日承認）

○ 承認を受けた課題の研究計画の軽微な変更

- 1 急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究（倫理審査 令和5年1月18日承認）

(研究者の職名変更、令和9年3月31までの2年間の期間延長)

- 2 神奈川県腸管出血性大腸菌における全ゲノム配列を用いた分子疫学的解析 (倫理審査 令和7年4月7日承認)

(人事異動に伴う研究分担者の変更及び退職に伴う研究代表者、研究責任者の変更)

- 3 薬剤耐性淋菌における新規分子疫学的解析法の開発 (倫理審査 令和7年4月7日承認)

(人事異動に伴う研究分担者の変更及び退職に伴う研究代表者、研究責任者の変更)

- 4 感染症発生動向調査事業等の行政依頼検査に関わる食中毒および感染性胃腸炎原因菌の検査手法の開発・検討 (倫理審査 令和7年4月7日承認) (人事異動に伴う研究分担者の変更及び退職に伴う研究代表者、研究責任者の変更)

- 5 感染症発生動向調査事業等の行政依頼検査に関わる薬剤耐性菌の検査手法の開発・検討 (倫理審査 令和7年4月7日承認)

(人事異動に伴う研究分担者の変更及び退職に伴う研究代表者、研究責任者の変更)

○ 研究の結果・成果の公表報告

- 1 急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究 (倫理審査 令和5年1月18日承認)

(論文発表及び口頭発表)

○ 承認を受けた課題の研究終了報告

- 1 髄膜炎菌における新規分子疫学的解析法の開発 (倫理審査 令和2年11月19日承認)

(令和7年3月31日 研究終了)

- 2 薬剤耐性淋菌および *Mycoplasma genitalium* 感染症の動向解析及び効率的な実態把握と治療の確立に資する研究 (倫理審査令和6年12月2日承認)

(令和7年6月12日 研究終了)